

「安全協定へ

県も尽力を」

知事に安来市長要請

安来市の近藤宏樹市長が10日、県の溝口善兵衛知事に対し、中国電力島根原発（松江市鹿島町片匂）の周

辺自治体が中電と立地自治体並みの安全協定を締結できるよう、国への制度創設の働きかけを求めた。

来年度の県予算編成に伴う重点要望で、松江市殿町の県庁に溝口善兵衛知事を訪ねた近藤市長は「安全協定締結に向け、県も尽力してほしい」と要請。溝口知事は「県に調整する権限はない」と述べ、国に働きかける考えを示した。

このほか、乳幼児医療費の助成制度拡充や、市内で建設中の県道切川バイパスの早期整備など13項目を要望した。（平井優香）